

平成25年度の予算と主な事業

平成25年度一般会計予算および特別会計予算が、3月定例議会で成立しました。

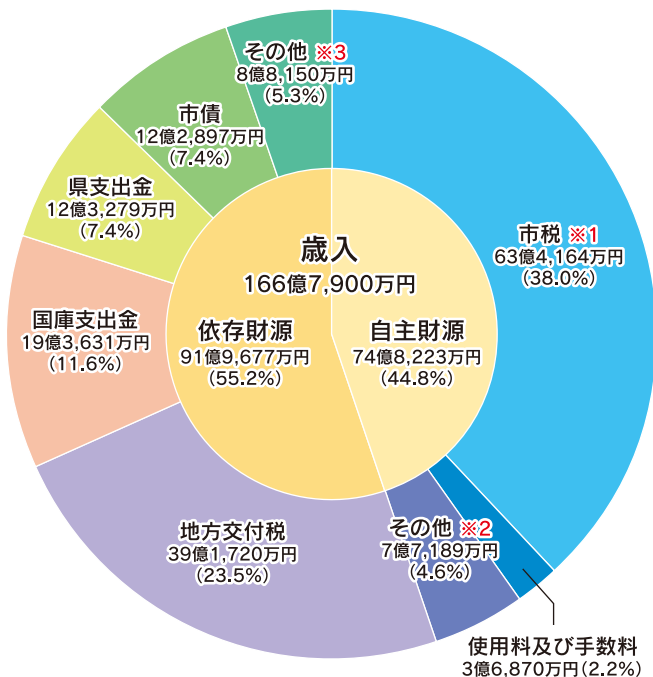
今年度は、5月に市長の任期が満了となるため、当初予算は新規事業や政策的な経費を極力抑え、義務的な経費を中心とした「骨格予算」として編成しています。

そのため一般会計予算額は、166億7,900万円で、前年度の予算額173億1,000万円より、3.6%の減となりました。また、特別会計予算額は、129億3,179万7千円で、前年度の予算額122億3,624万9千円より、5.7%の増となりました。一般会計と特別会計を合わせると、前年度と比べて0.2%の増となりました。

一般会計・歳入

歳入の根幹となる市税は、前年度(61億7,220万円)から2.7%の増となっており、地方交付税については、前年度(40億200万円)から2.1%の減となります。

また、「骨格予算」により政策的な経費を抑えているため、市債は前年度(14億8,260万円)から17.1%減となりました。



※1 〈市税の内訳〉

- ・ 市民税……………31億2,494万円
 (個人……………27億6,662万円
 法人……………3億5,832万円)
- ・ 固定資産税……………25億3,034万円
- ・ 軽自動車税……………9,686万円
- ・ 市たばこ税……………5億8,950万円

※2 〈自主財源:その他の内訳〉

- ・ 分担金及び負担金……3億3,813万円
- ・ 財産収入……………2,030万円
- ・ 寄附金……………70万円
- ・ 繰入金……………2億98万円
- ・ 諸収入……………2億1,178万円

◆市税

皆さんから市に納めていただいた税金(市民税・固定資産税等)

◆使用料及び手数料

あすてらすや運動公園などの使用料および住民票などの手数料

◆地方交付税

国が徴収する税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金

◆市債 事業を行うために市が借入れるお金

◆自主財源 市税や施設の使用料など市が独自で調達するお金

◆依存財源 国・県などの意思により交付されるお金

◆特別会計 特定の歳入で特定の支出にあてて運営する会計

※3 〈依存財源:その他の内訳〉

- ・ 地方譲与税……………2億3,600万円
- ・ 利子割交付金……………3,100万円
- ・ 配当割交付金……………800万円
- ・ 株式等譲渡所得割交付金……250万円
- ・ 地方消費税交付金……4億5,000万円
- ・ ゴルフ場利用税交付金……2,000万円
- ・ 自動車取得税交付金……7,000万円
- ・ 国有提供施設等所在
市町村助成交付金 ……900万円
- ・ 地方特例交付金……………4,300万円
- ・ 交通安全対策特別交付金…1,200万円

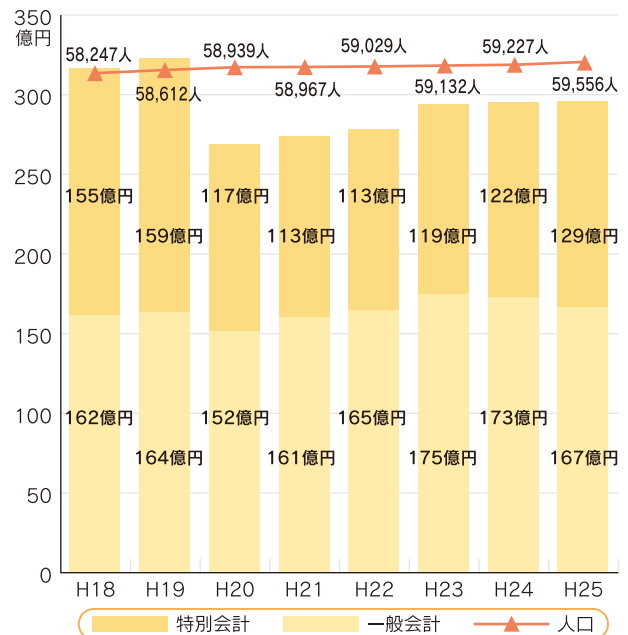
当初予算規模

※()内は前年度比増減率

◇一般会計	166億7,900万円(3.6%減)
◇特別会計	129億3,179万7千円(5.7%増)
(内 訳)	
・ 国民健康保険事業特別会計	61億6,835万9千円(2.1%増)
・ 後期高齢者医療特別会計	8億706万7千円(6.8%増)
・ 介護保険事業特別会計	33億9,475万1千円(6.0%増)
・ 介護サービス事業勘定	2,675万円(6.5%増)
・ 下水道事業特別会計	22億2,103万9千円(3.0%増)
・ 住宅新築資金等貸付事業特別会計	943万1千円(6.6%減)
・ 工業団地整備事業特別会計	3億440万円(576.4%増)
◆予算総額	296億1,079万7千円(0.2%増)

人口と予算の推移

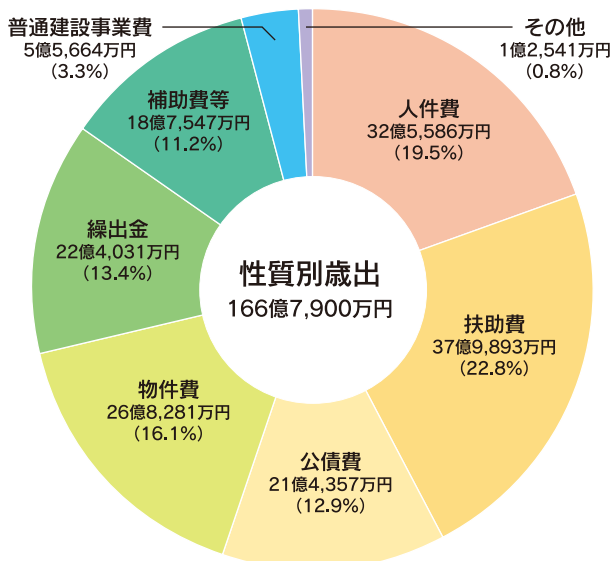
※一般会計当初予算が骨格予算の場合は、6月補正後(内付け後)予算を使用(人口：各年度4月1日現在、ただし平成25年度のみ2月28日現在)



一般会計・歳出

●性質別歳出

義務的経費(支出が義務付けられ任意に削減できない経費、「人件費」・「扶助費」・「公債費」の合計)が、55.2%と全体の半分以上を占めています。

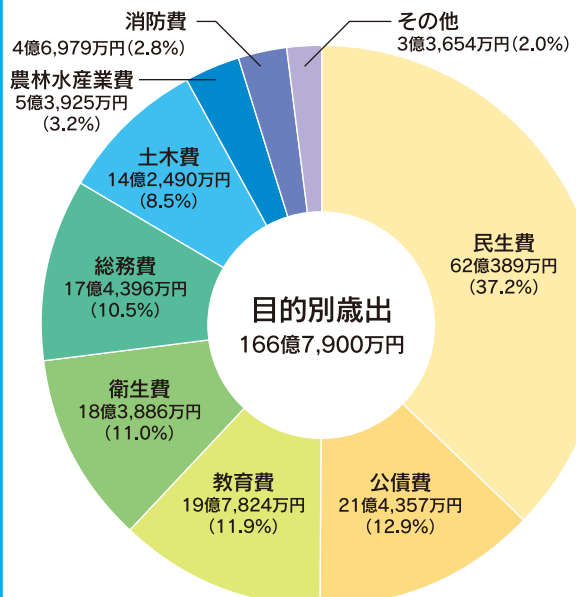


～性質別歳出～

- ◆人件費 職員や特別職の給与、議員および各種委員会委員の報酬に使うお金
- ◆扶助費 生活保護費、児童手当、医療費等に使うお金
- ◆物件費 委託料、光熱水費、備品購入費等に使うお金
- ◆繰出金 各特別会計に対する一般会計からの支出に使うお金
- ◆補助費等 団体への補助金や負担金に使うお金
- ◆普通建設事業費 道路・橋梁等の整備や公共施設の新設増改築等に使うお金

●目的別歳出

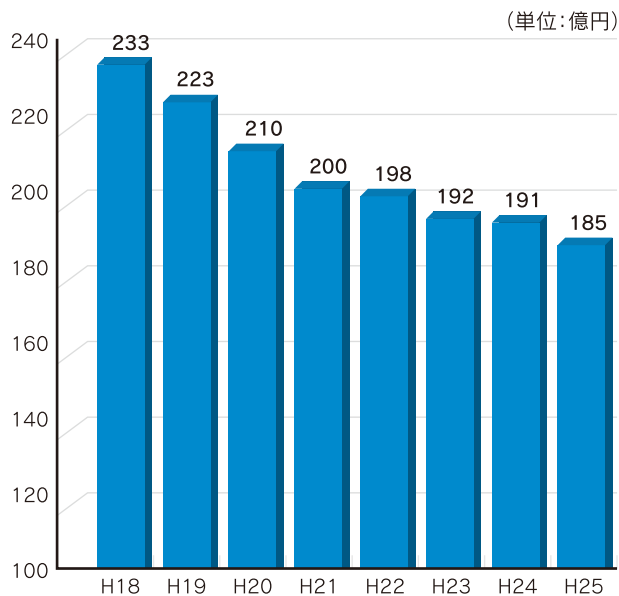
社会福祉や高齢者、児童福祉などに使われる「民生費」が3割以上を占めています。



～目的別歳出～

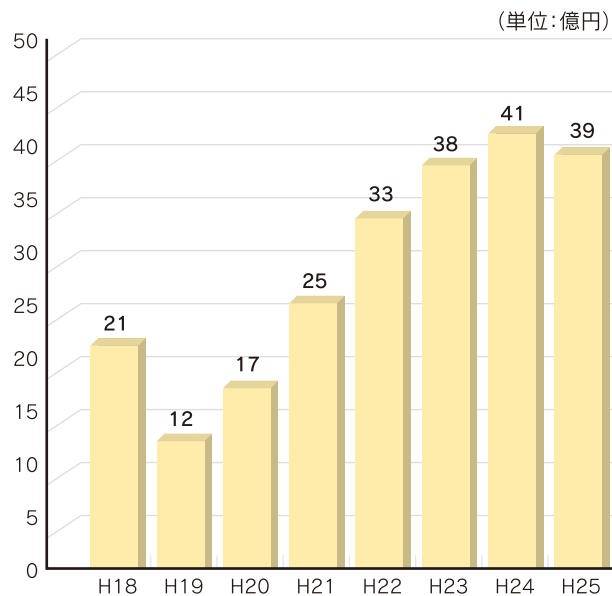
- ◆民生費 福祉全般の事務・事業に使うお金
- ◆公債費 借入れたお金を返済するためのお金
- ◆教育費 小・中学校の運営費用や公民館、図書館等教育全般の事務・事業に使うお金
- ◆衛生費 感染症予防、成人保健、母子保健や環境保全、ごみ処理等に使うお金
- ◆総務費 課税徴収、選挙等市の総括的な事務に使うお金
- ◆土木費 都市基盤整備や道路、公園、河川等の維持管理・改良等に使うお金

市債残高の推移(一般会計)



現在は毎年の発行額を抑えて残高を減らし、財政の健全化を図っています。25年度末の残高は185億円となる見込みです。

基金残高の推移(一般会計)

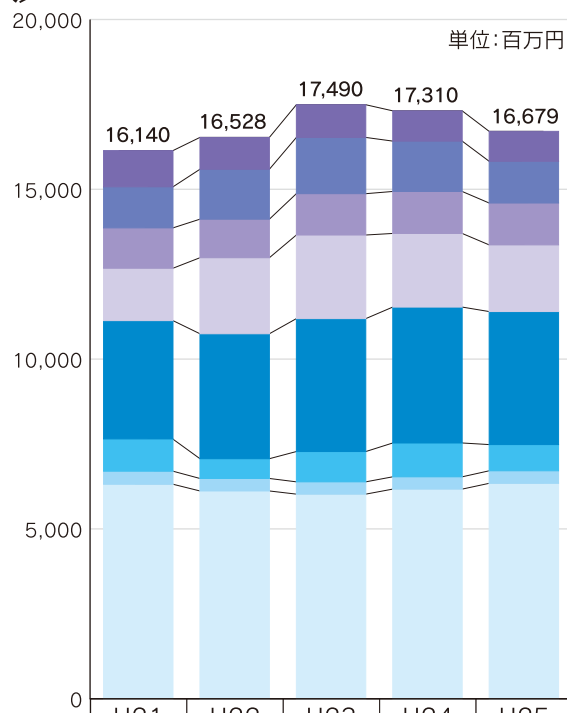


基金とは、市の貯金にあたるものです。平成20年度から23年度にかけて積立てを行いました。25年度は約2億円を取り崩すため25年度末の残高は39億円となる見込みです。

一般会計予算の推移(内訳)

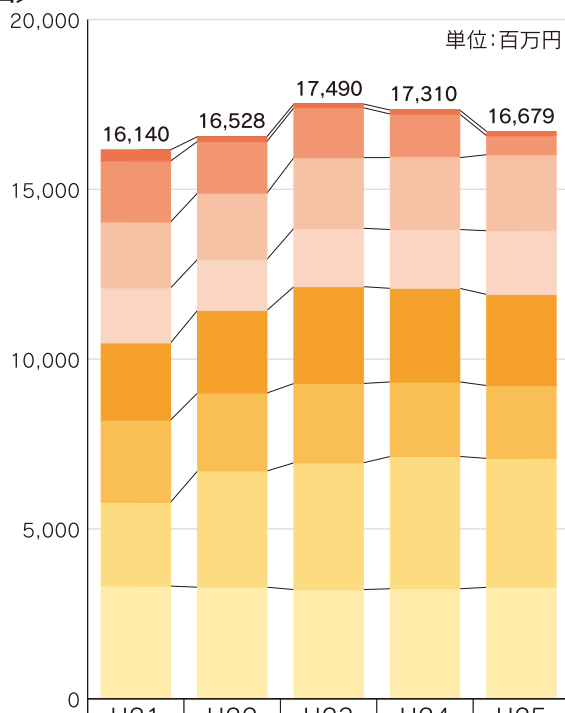
歳入では市税と使用料及び手数料が増えています。歳出では各種負担金や補助金などにあたる補助費等と各特別会計への繰出金が増えています。
※一般会計当初予算が骨格予算の場合は6月補正後(肉付け後)予算を使用

〔歳入〕



	H21	H22	H23	H24	H25
■ その他(依存財源)	1,067	938	963	891	881
■ 市債	1,209	1,470	1,656	1,483	1,229
■ 県支出金	1,188	1,135	1,217	1,236	1,233
■ 国庫支出金	1,543	2,239	2,462	2,168	1,936
■ 地方交付税	3,483	3,679	3,914	4,002	3,917
■ その他(自主財源)	951	582	892	996	772
■ 使用料及び手数料	384	368	362	362	369
■ 市税	6,315	6,117	6,024	6,172	6,342

〔歳出〕



	H21	H22	H23	H24	H25
■ その他	330	140	110	117	125
■ 普通建設事業費	1,793	1,522	1,469	1,248	557
■ 繰出金	1,944	1,951	2,081	2,152	2,240
■ 補助費等	1,619	1,502	1,719	1,732	1,875
■ 物件費	2,271	2,434	2,851	2,755	2,683
■ 公債費	2,421	2,296	2,336	2,196	2,144
■ 扶助費	2,468	3,422	3,733	3,894	3,799
■ 人件費	3,294	3,261	3,191	3,216	3,256

主な事業について

都市機能・都市基盤づくり

道路・交通網

- ・西福童・二森32号線(端間自歩道橋)整備事業

消防・防災

- ・消防施設整備事業
(第6分団格納庫建替え)
- ・災害時備蓄事業
(食料、生活必需品、救助資機材セット等)
- ・自主防災組織支援事業



▲災害時備蓄事業

活力ある産業づくり

農業

- ・新規就農総合支援事業

商業

- ・緊急経済対策住宅改修補助事業
- ・工業団地整備事業



▲工業団地(写真はイメージ)

居住環境づくり

環境

- ・住宅用太陽光発電システム設置補助金の拡充

下水道

- ・公共下水道整備事業
(稲吉・八坂・松崎地区)

健康と福祉づくり

福祉

- ・児童手当支給事業
- ・地域福祉計画策定事業

子育て支援

- ・養育支援訪問事業

保健

- ・妊産婦新生児訪問指導



教育と地域文化づくり

学校教育

- ・スクールソーシャルワーカーの拡充
- ・三国幼稚園改修事業

文化財

- ・中油屋復元事業



▲中油屋復元イメージ図

地域自治体制づくり

コミュニティ分権

- ・協働のまちづくり推進事業

行財政運営

- ・コンプライアンス体制の推進